

# 第5学年 道徳科學習指導案

5年1組 25名  
指導者 堀江 知世

## 1 主題名 広い心をもって

|                     |  |
|---------------------|--|
| B – (11)<br>相互理解、寛容 | 自分の考え方や意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。 |
|---------------------|--|

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容

人の考え方や意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合い、理解しながら高め合う関係を築くことが不可欠である。しかし、私たちは、他人の失敗や過ちを一方的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっている。だからこそ、自分自身が成長の途上にあることに気付き、異なる意見にも素直に耳を傾け、相手の立場を尊重することが大切である。自分も過ちを犯すことがあることを自覚し、自分自身を謙虚に見つめ直すとともに、広い心で異なる意見や立場を尊重することで、仲間とよりよい人間関係を築こうとする態度を育てたいと思い、本主題を設定した。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は明るく活発で、友達と仲良く過ごしている。高学年となり、自分の考え方や意見をはっきりと伝えられるようにもなってきている。一方で、自分と異なる意見に対して耳を傾けようとしなかったり、仲の良い友達に合わせて自分の意見を変えてしまったりする姿も見られる。また、自分の意見が通らないときに不機嫌になったり、感情的に反論したりする児童もいるなど、相手の立場や気持ちを想像する力がまだ十分に育っていない。このような実態を踏まえ、本時では、自分の考えが全てではないと気づく謙虚さを養うとともに、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとする態度を育てたい。

### (3) 教材について

(教材名「ブランコ乗りとピエロ」)

出典：新編 新しい道徳5 東京書籍)

教材の主な登場人物は、サーカス団のリーダーであるピエロと、ブランコ乗りのサムである。大王のサーカス見物で、約束の演技時間を破ったサムに自分の出番を奪われ、腹を立てるピエロだったが、演じ終わったサムの姿を見て、サムを許す。

サムが誰よりも真摯に演技に向き合っていることに気付いたピエロが、自分自身を見つめ直したことで二人が互いに歩み寄り、サーカスを大成功させた。その二人の姿から、謙虚な心で互いに理解し合うことが、よりよい人間関係を築き、自分を高めていくということにも気付かせることのできる教材である。

### (4) 主題的に考え、伝え合い、共に伸びる授業の工夫

本時の学習ではまず、人と意見が違つてうまくいかなかった経験を想起させたり、カーテンの隙間からサムを見ているときのピエロの腹立しさや悔しさに十分に共感させたりすることで、児童が自分事として考えることができるようにする。中心発問では、なぜサムを憎む気持ちが消えたのかについての考えを、タブレットを使って共有したり、ペアで話し合ったりさせる。多様な考えに触れることで、自分の考えを深めたり、新しい考えを形成したりすることができるようになる。また、児童の発言に問い合わせを行うことで、相手の立場を尊重する心や、自分を謙虚に見つめなおすことについての考えを深められるようにしたい。そして、二人の共演が人気の演目になったところから、相手の考え方や意見を広い心で受け入れることが、自分自身を高めることにもつながるということにも気付かせたい。振り返りの場面では、テレビ画面に振り返りの観点を示し、自分の考え方や新しい気付きなどを文章に表せるようにすることで、児童の学びを深いものとしたい。

### 3 本時の学習

#### (1) ねらい

友達と互いに理解し合い、自分と異なる意見や考えを大切にしようとする態度を育てる。

#### (2) 展開

| 過程 | 学習活動  | 主な発問と予想される反応 ◎主発問   | 指導上の留意点 ☆評価の視点  |
|----|---|---|---|
| 導入 | 1 相手と意見や考えが違って困った経験を想起させ、本時のめあてをつかむ。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手と意見や考えが違って困った経験はありますか。</li> <li>・自分は相手のためを思って注意したのに怒られたことがある。</li> <li>・お楽しみ会でしたい遊びがみんなと違った。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活経験を想起させることで、本時のねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>   |
|    |   | 意見や考えの違う人と関わるときに大切なことを考えよう  |   |
| 展開 | 2 教材について話し合う。<br>(1) カーテンの隙間から見ているピエロの心情を考える。<br><br>(2) ピエロの心からサムを憎む気持ちが消えたわけを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○カーテンの隙間からサムの演技を見ているピエロは、どんなことを考えていましたでしょう。</li> <li>・腹が立つ。</li> <li>・やっぱり約束を破った。</li> <li>・せっかく練習してきたのにサムのせいで無駄になった。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>○ピエロの心から、サムをにくむ気持ちが消えたのはどうしてでしょう。</li> <li>・サムが一生懸命演技していた。</li> <li>・自分にも目立ちたい気持ちがあつたことに気付いた。</li> <li>・サーカスのみんなが気まずいままではいけないと思った。</li> <li>・サムにサーカスのためにがんばるという自分と同じ気持ちがあった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○サムの態度を許せないピエロの腹立たしさや悔しさに共感できるようにする。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の発言に問い合わせを行うことで、広い心をもつことや謙虚さについての考えを深めることができるようする。</li> </ul> |
|    | 3 本時の学習を振り返る。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の学習の振り返りを書きましょう。</li> <li>・これからは自分と考えが違っても嫌な態度をとらないでしっかりと話し合いたい。</li> <li>・自分と考えが違う人でも、理解しようとすればうまくいくことがあると分かった。</li> <li>・考え方の違う人でも、協力することができればお互いが成長できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふり返りを書く時の観点を提示することで、児童が自分自身との関わりの中で考えができるようする。</li> </ul> <p>☆広い心で相手の立場を受け入れることについて、自分事しながら考えている。<br/>(発言・ふり返り)</p>                                       |
| 終末 | 4 本時のまとめをする。  | ○みんなで考えたことを、これからも大切にしていきましょう。   | ○児童の考えを共有し、互いに理解し合える人間関係を築こうとする意欲を高める。  |